



緑ヶ丘仮設住宅訪問

郡山教会では、緑ヶ丘仮設住宅での支援活動を継続的にこなっています。この仮設住宅の入居者の方々は、かつて原発の近くの地域に住んでおられた方が多く、ご自分の家に戻るにはかなりの時間がかかると予想されますので、長く寄り添う働きが必要だと考えられています。

4回目の支援活動となる9月13日には、青空市場、うたごえ喫茶コーナー、マッサージ、野中宏樹牧師(鳥橋教会)を迎えてミニコンサートなども行い、大変喜ばれました。

5回目の支援活動となる10月18日には青空市場を開き、冬物衣料などの生活用品をお譲りしました。また、好評だった、うたごえ喫茶コーナーでは、お汁粉を食べながら一緒に歌う喜びを分かち合い、マッサージコーナーや3B体操教室などでは、一緒に体を動かして体をほぐしながら、よい時を共有することができました。

各回ともに、青空市場にて、全国諸教会/伝道所の皆さまからお寄せ頂いた多くの支援物資をお渡しすることができました。感謝です。次は、10月29日、11月22日を予定しています。



除染についての試み

除染の方法としては、一般には、高圧洗浄機で建物を洗い、表土を削るのが手っ取り早いとされていますが、その洗浄後の水や削った後の土をどう処分すればいいかが問題となります。そこで、福島チーム会議で話し合い、ゼオライト※ を使った除染についての試験(写真参照)を開始しました。具体的には、ゼオライトを教会の屋外の数か所の土の下(数値の特に高かった雨どいの下等)に埋めて線量を測定している他、屋内の空気洗浄機に入れて様子を見ています。残念ながら、除染の効果があるといわれていた「ひまわり」はそれほど効果がないことが判明しました。

現段階では、一番効果がある方法が何かは分かりませんが、ゼオライト等の試験を行いながら私達にできる対策は何かを手探りで考えています。引き続きお祈りいただきますようお願いいたします。

※「ゼオライト」とはケイ素と酸素とアルミニウムでできた鉱物で、放射性セシウムを吸着する効果があるといわれています。



左はゼオライト。右の球体は水とゼオライトが入った空気洗浄機。

特に雨どいの下は 12 μSv/h と線量が高い。



教会の線量が高い場所の土の中にゼオライトを埋めて、線量の推移を測定。

被災地報告

6月17日、初めて郡山コスモス通り教会をおたずねしました。子供達は、長袖、長ズボンにマスク着用で、汗をびっしょりかいて登下校をし、学校にいても運動場で遊んだり、外で体育をすることができず、ストレスをためている状況でした。地震が起きて7ヶ月。何も変わらない状況の中、子供たちの笑顔の前にして思わず祈りに力が入ります。

福島は原発の事故だけでなく、津波の被害も大きく、南相馬の火力発電所の近くに行くと、所々に木があり得ない様で立ち、崩れた家の土台や、鉄骨が無造作に折れ曲がってそこは廃墟です。その中で、どろんこになったぬいぐるみが一埋もれていました。このぬいぐるみを抱っこしていた子は今、どこにいるのだろう...涙と共に祈りがこみ上げてきました。今日も見えない放射能の恐怖に包まれ、復興の手がかりがつかめない福島。もっと原発のこと、真剣に学び、反対運動をしておけばよかった。無謀なエネルギー開発を悔やまれてなりません。

そして、もう一つの支援地は、岩手県の大槌町です。町の80%が津波に流され、町役場も被害にあい、町長さんも津波で流された地域です。遠野に開所したボランティアセンターから車で一時間半。峠を越え、釜石製鉄所を通り過ぎると景色は一変し、まさに廃墟。津波でなにもかも流され、流されてきた瓦礫に火がつき町全体が火事になった地域です。学生を瓦礫撤去に派遣するのですが、そこで目にするのは確かに瓦礫と称する誰かの生活の足跡、宝物のはずだった物です。

震災から7ヶ月たった今は、瓦礫の中から遺骨が出るようになりました。「主よなぜですか」思わず問いかげずにはおられない風景がそこにあります。それでも「荒れ地よ。荒れ野よ。喜び踊れ」(イザヤ35:1)この御言葉が心一杯に迫ってきます。どこに主がおられるのか、その時、あなたは何をしておられたのか。思わずつぶやいてしまうのですが、そこで私たちと一緒に瓦礫を拾い、涙を流している方の横に寄り添う主であうのです。もうすぐ冬。心も冬になってしまうのでしょうか。津波で家族を亡くした方が多いこの地域の方々の心の痛手ははかりしれません。何とかして寄り添いたい。どうぞお祈り下さい。

(宮崎丸山町教会:金子千嘉世)



祈りの課題

- ◆原発事故が一刻も早く収束しますように。
- ◆除染作業が速やかに行なわれ、子どもたちが安心して過ごせる環境が整いますように。
- ◆今号に掲載していない被災県内の教会・伝道所の様子も、次号以降、順次お知らせしていきます。